

もったいないフェア宇都宮2019開催報告書

1 実施概要

- 名 称 : もったいないフェア宇都宮2019
- テ ー マ : ふれよう“もったいない”と“SDGs”, 創ろう持続可能な未来都市
- 開催方針 : もったいないに関する取組をより身近に感じ、一人ひとりが自分出来る「もったいない運動」を考え、未来の世代にもったいないの精神を継承していくよう、気づきや学びの場を提供できるイベントとする。子どもから大人まで幅広い世代の方に対し、「もったいない運動」がSDGsによる持続可能な未来都市の構築につながっていくことを認知してもらうよう推進を図る。
- 日 時 : 令和元年9月28日(土) 午前10時～午後3時(晴天により開催)
- 会 場 : 宇都宮城址公園
- 主 催 : 宇都宮市もったいない運動市民会議
- 出展団体 : 53団体
- 来場者数 : 19,000人

2 当日の様子

(1) エリア毎のブース内容

ア「もったいないを学ぼう！」(35団体)

- ・宇都宮市もったいない運動市民会議ブース
「もったいない運動」のそれぞれの取組が、SDGsのどの目標達成につながっているのかを、ボードゲームで学んでもらいました。



・Kids古本交換市

- 大勢の子どもたちが、読み終わった本を持ち寄り、集まった本の中から楽しそうに自分が読みたい本と交換していました。



・もったいないりぶっく(本やDVDの寄附)

- 当日は161冊の本の寄附を受けました。寄附をいただいた方には、特典として市製作のもったいないりぶっくのしおりを配布いたしました。

イ「残しま10!を实践しよう!」(12団体)

・もったいなべ

宇都宮産の野菜などを使用して「地産地消もったいなべ」を作り、マイ箸を持参した約500名の方にふるまいました。



・飲食ブースの出展

飲食物の販売にあたってリユース食器の活用に御協力いただき、来場者へのもったいなべの意識醸成に努めていただきました。

ウ「エコな乗り物を知ろう!」(6団体)

・キッズバイク体験ブース

宇都宮ブリッツェンが、市役所東側駐車場エリアに簡易コースを設置し、キッズバイクの試乗体験を行いました。会場に足を運んだ子どもたちに、環境にやさしい乗り物である自転車の楽しさを感じていただきました。



・日産自動車による環境にやさしい自動車の展示

ブースに電気自動車等の環境にやさしい自動車を展示いただき、来場者に魅力を伝えていただきました。



・LRTの魅力の発信

雷都レールとちぎ、LRT企画課にブース出展いただき、2022年に開通するLRTについて、市民への普及啓発を実施していただきました。



(2) その他の会場運営

・もったいない市(フリーマーケット)

23名の方が出店し、来場者との交流を図りながら不用になった衣類等を販売していただきました。



・協賛品の活用

協賛品については、フェア当日のスタンプラリーの抽選所において、景品として活用させていただきました。

・ゆるキャラによる会場の盛り上げ

とちまるくん、トッキー、ブレッキー、ライトくん、ミヤリーによるステージ出演や会場内のグリーティングを実施し、会場内を盛り上げていただきました。



・ボランティアの活動

旭中学校の生徒7名には、オープニングセレモニーにおけるのぼりの旗振りや、オリオン通りにおける清掃活動を行っていただきました。

帝京大学の学生6名には、「もったいないりぶっく」のブース運営に協力をいただき、多くの本の寄附を受け付けていただきました。

また、一般ボランティアの方には、インフォメーションにおいて会場案内に御協力いただき、来場者へのおもてなしに努めていただきました。

・ステージイベント

宇都宮市民ジャズオーケストラによるオープニング演奏から始まり、宇都宮共和大学生によるよさこい等を披露いただいた後で、4コマまんがコンクール表彰式、もったいないAWARD表彰式、環境協定締結式を行いました。

表彰式後は、作新学院幼稚園児による「もったいない体操」の披露で、ゆるキャラのミヤリー、とちまるくん、トッキー、ライトくん達と、元気いっぱいに踊っていただきました。宇都宮大学生による息の合ったキレのあるダンスや、P.O.Pによるライブパフォーマンスで、ステージを一層盛り上げていただきました。オトワリバスによるもったいないステージイベントでは、来場者の子ども達にも参加してもらい、古くなったベンチに色を塗り世界に一つだけのベンチとして甦らせ、ステージを締めくくりました。

また、ステージの進行においては、メイン司会者のほかに、アート&スポーツ専門学校
の生徒や市民会議委員にも協力いただき、円滑に進行することができました。



宇都宮市民ジャズオーケストラによる演奏



宇都宮共和大学によるステージ披露



もったいない4コマまんがコンクール表彰式



環境協定締結式



もったいないAWARD表彰者



作新学院幼稚園児による「もったいない体操」



宇都宮大学生によるダンスショー



P.O.Pによるステージショー



オトワリバースによるチャーチベンチ製作



専門学生によるステージMCアシスタント

3 後援・協賛・協力団体

「もったいないフェア宇都宮2019」の開催にあたり、後援・協賛・協力いただいた団体等は下記のとおりです。（敬称略，順不同）

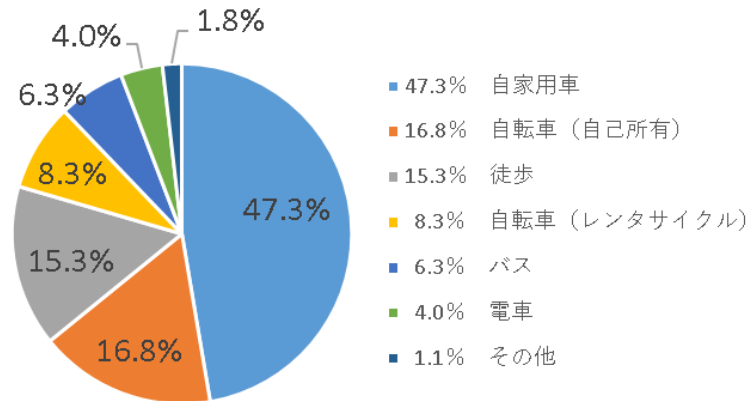
- 後援** : NHK宇都宮放送局，毎日新聞宇都宮支局，下野新聞社，株式会社とちぎテレビ，株式会社エフエム栃木，株式会社栃木放送，宇都宮コミュニティFMミヤラジ，栃木県，栃木県教育委員会，宇都宮市教育委員会
- 協力** : 宇都宮市民憲章推進協議会，嵯峨野株式会社，東日本三菱自動車販売株式会社，日産自動車株式会社栃木工場，栃木日産自動車販売株式会社，日産プリンス栃木販売株式会社，宇都宮ブリッツェン
- 協賛企業・団体** : 邦和理工株式会社，日昌測量設計株式会社，株式会社ピースノート，栃木日産自動車販売株式会社，日産プリンス栃木販売株式会社，上陽工業株式会社，平成理研株式会社，株式会社アキモ，日産自動車株式会社栃木工場，クボタ環境サービス株式会社，公益社団法人宇都宮法人会，オトワリバース&リバイバルワークショップ，フタバ食品株式会社，株式会社中川染工場，一般社団法人栃木県環境美化協会，一般社団法人栃木県自動車整備振興会，有限会社ティ・オー・ピー・エス，株式会社大高商事，株式会社エム・プロダクト，鈴運メンテック株式会社，株式会社スキット，株式会社新北斗興業，宇都宮文化センター株式会社，とちぎコープ生活協同組合，協同組合宇都宮餃子会，あづま食品株式会社，毎日新聞宇都宮支局，平石環境システム株式会社，渡辺建設株式会社，宇都宮興産株式会社，株式会社オータニ，株式会社セオス，宇都宮メガソーラー株式会社，株式会社太陽警備保障，びっくりドンキー宇都宮東店，栃木県リサイクル協同組合連合会，株式会社横倉本店，株式会社栃木サッカークラブ，花王グループカスタマーマーケティング株式会社，株式会社栃木ブレックス，東京ガス株式会社宇都宮支社，株式会社東武宇都宮百貨店，農林中央金庫関東業務部，コクヨ北関東販売株式会社，株式会社足利銀行（順不同）

計45団体

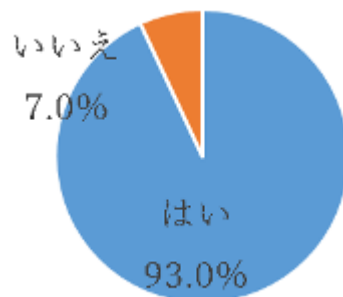
4 アンケート結果

(1) 来場者アンケート（回答者 計589人）

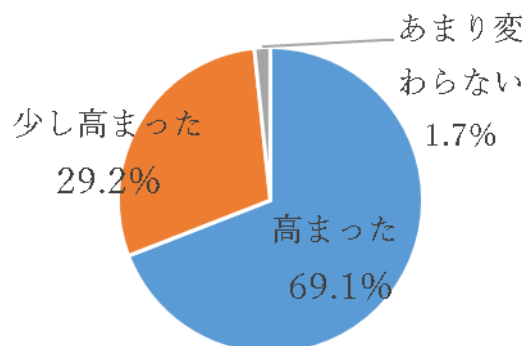
ア 会場までは何で来られましたか？



イ SDGs 学びのブースを体験して、SDGs が身近なものに感じられるようになりましたか？

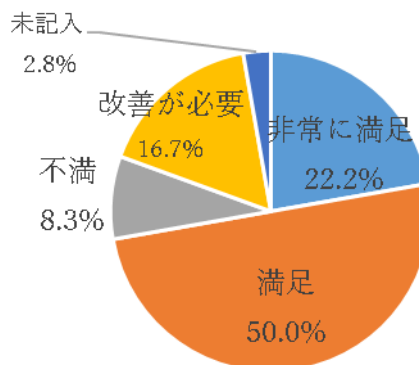


ウ もったいないフェアに来場して、「もったいない運動」への関心や意識に変化はありましたか？



(2) 出展者アンケート

ア 今回のもったいないフェア宇都宮 2019に出展された感想について



主な意見（出展団体）

- ・集客力があり盛り上がるイベントであった。
- ・スタンプラリーの実施により、多くの来場者に参加してもらえた。
- ・PRの対象にした子ども連れが多く来場し、展示物の耳目を集めることができた。
- ・来場者数が、以前より少なかった。
- ・出展者やお客様がマンネリ化しているように感じる。

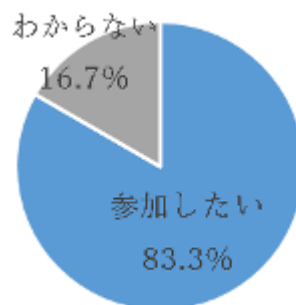
主な意見（もったいない市）

- ・出展者同士や来場者との会話が楽しめた。
- ・自分が出展する前まで車が行けて荷物をおろせる事は良い。
- ・みどりの小径は、城内よりも来場者が少ない。
- ・40～50程の出展者数がないと、盛り上がらないと思う。

イ 貴団体の今回のブースへの来場者はどのくらいですか？

- ・出展団体 平均約210人
- ・もったいない市 平均約50人

ウ 次回、もったいないフェア宇都宮に参加を 希望されますか？その理由は何でしょうか？ 簡単にご記入ください。



主な意見（出展団体）

- ・もったいないに貢献できる事をしたいため。
- ・毎年興味を持ってアンケートに答えてくれる市民の方が多く、貴重な機会だから。
- ・エコに関する取り組みを一般の消費者に紹介、また、生の声を聞ける機会のため。

主な意見（もったいない市）

- ・古着やペットボトルキャップ等を使って雑貨を作っており、趣旨が一致している。
- ・家の物を整理したい。使える物をただ捨てるのは心が痛いので。
- ・1年に1度、不用品等の処分・交換も兼ねているのと、来場者との対話が楽しみ。

エ 今後の「もったいないフェア」についてご意見をお聞かせください。

a. 当イベントは「ひとやものやまちを大切にすることを育むこと」を目的としています。その開催趣旨をより体現するための改善点やアイデアがあればお聞かせください。

【ブース関係】

- ・ 出展者も合わせて、全体でできるもの。
- ・ 子どもたちが参加しながら、ものの大切さなどを感じることができるブース。
- ・ ゲームや体験をして、エコ新製品の提供等、参加者が楽しめる企画。
- ・ 自分が持ってきた物1品を置き、好きな物1品を持ち帰れる物々交換コーナー。
- ・ 新規ターゲット層に向けたリペア系ワークショップ。
- ・ 「ひとブース」「ものブース」「まちブース」に分け、それぞれの特色をより色濃くする。

【その他】

・ 庁内の出展については、例えばエコな交通のテーマを掲げるのであればLRT部門+交通政策課など、横断的な出展ブースの設定が必要だと思う。

- ・ 出展者のテントの持ち込みをもっと推奨したらどうか。開催経費の節約になると思う。
- ・ 他の出展者の意見を聞く機会があると良い。
- ・ SNSなどを使って、多くの方にイベントと開催の主旨を発信すると良い。
- ・ CO2削減や環境に関することへの刺激をもっと強調してもよいのではないか。
- ・ 似たような体験ができるブースをお互いに紹介しあう掲示物を作成してはどうか。
- ・ 今回はじめて土曜日開催でフリマの出展者が少なかったと思う。来場者にもなぜ土曜なのかと聞かれたが、雨天時に翌日が予備日となれば、土曜開催を定着させてほしい。

b. 当イベントではおもてなしの心をもった運営に取り組んでいます。イベント来場者により楽しく快適に過ごしていただくにあたり、運営上の改善点があればお聞かせください。

【主な意見】

- ・ 同時期に開催される他部署が城址公園で実施するイベントでもリユースを義務化するなど、統一を図り、それをPRしてはどうか。
- ・ 容器の返却場所がわかりにくい。
- ・ 飲食用の休憩スペースや立食でも構わないのでテーブルがもう少し必要だと思う。
- ・ ブースをすべて城址公園内にまとめた方がコンパクトでより活気のあるイベントにできるのではないか。公園外の人が少々少なかったように感じる。
- ・ 来場者より駐車するのに時間がかかるという声を聞きました。もっと近隣にスペースがあれば良い。
- ・ 1日だけの駅から直行バス（臨時）を運行できると良い。もっと人を集められるので。
- ・ スタッフが一目でわかるように、例えば全員が同じ色のもったいないポロシャツを着用するなど、統一感や連帯感を持たせる。

5 総評及び次回開催への課題

今年度は、「もったいない運動」と「SDG s」のつながりを知ってもらうことをテーマに、スタンプラリーのチェックポイントの一つに「SDG s 学びのブース」を設定したことで、多くの来場者に体験いただくことができました。来場者アンケートの結果からも、「SDG s」の普及啓発については一定の成果を得られました。

また、これまで日曜日に開催していた当イベントを土曜日に開催したことや、公共交通を利用した来場を促すため、中央卸売市場からのシャトルバスの運行を行わなかったこと等から、例年より来場者が少なかったと考えられますが、イベントを通して公共交通の利用促進について効果的な普及啓発ができました。

今後多くの方に足を運んでもらえるよう、次回のイベント開催に向けて、下記の課題等について対応を検討していきます。

・公共交通等を活用した来場の推進について

「もったいない」を推進する環境イベントとして、公共交通を利用した来場を促すことについて、来場者の認知と理解を得られるよう、事前の広報周知の徹底や、各公共交通機関との連携を図っていく必要があります。

・リユース食器の活用及び返却の体制について

食器の返却の際に数の不足が生じないように、当日に検品が行える体制の整備や、随時会場におけるアナウンスの実施、出展団体に積極的な案内を行ってもらうことで、来場者に対しても確実に返却してもらうようにする必要があります。

・もったいなべについて

規格外の野菜等については、捨てられずに消費ができるようになってきていることから、調達自体が困難になってきており、当初の実施の目的が概ね達成できてきていることから、今後の実施について検討する必要があります。

・会場のレイアウトについて

もったいない市や東側駐車場エリアといった城址公園の外で実施したブースについて、公園内との一体感を持たせられるよう、人が流れる仕掛けや実施場所について検討する必要があります。

・SDG sの周知啓発について

子どもから大人まで幅広い世代の方に「SDG s」を学んでもらえるよう、関連する出展団体を増やすことや、ブースごとに目標の番号を設置する等、来場者に視覚的にも普及啓発が行えるよう、イベント全体での推進を強化する必要があります。

・来場者の休憩スペースについて

会場内に設置するテーブルやイスを増やし、来場者がゆっくり過ごせる環境づくりを行う必要があります。

「もったいない4コマまんがコンクール」入賞作品

最優秀賞

キッズの部

ジュニアの部

一般の部

わたしのくつした

タイトル



1



2



3



4

わたしのくつした
城東小学校 2年

まつもと さとこ
松本 怜子

恐怖の
マイクロプラスチック

タイトル



1



2



3



4

恐怖のマイクロプラスチック
陽北中学校 3年

あべ あゆ
安部 葵優

にいちゃんのおさがり

タイトル



1



2



3



4

にいちゃんのおさがり
作新学院高等学校 2年

ないとう ゆみ
内藤 有美

「もったいないAWARD」受賞者

会長賞

会長賞

『外国人旅行者へのおもてなし』

宇都宮SGGクラブ

宇都宮市を訪れる外国人旅行者が、安心して楽しく旅行ができるよう「おもてなし」することを目的に、JR宇都宮駅構内の観光案内所を中心に様々な活動を実施しています

宇都宮市国際交流協会事業等へ参加するほか、日本文化の紹介、英語等の語学研修等も実施しています

JR宇都宮駅構内の通訳・ガイド活動を行ったり、宇都宮市内を中心に県内観光地を案内しています



会長賞

『新聞ちぎり絵を手段とした居場所づくり』

たての ともこ
智野 智子さん

古新聞のカラー紙面を活用した新聞ちぎり絵の普及活動や指導を実施しています

新聞ちぎり絵を1つの手段に、障がいの有無や年齢に関係なく誰もが参加できる居場所づくりを行っています

地域福祉やもったいない運動等について考え創作することで、青少年育成や文化芸術振興に寄与しています



特別賞

特別賞 『人が輝ける活動支援』

輝楽塾

子育てが落ち着いた女性のために、月に1度完結型講座を開催しています



受講者が講師となって活動する事例も「魅力的な人がのびのび活動できないなんてもったいない」と活動しています



地域で風呂敷講座などの楽しく学べる講座や不定期にイベント等を開催しています



特別賞 『郷土料理 しもつかれの普及』

しもつかれブランド会議

「しもつかれ」を県民にとって誇れる郷土料理にし、全国・世界へと広げるため、しもつかれをアップデートするアイデアを出し合い、実践しています



しもつかれが苦手な人でも食べてみたいと思ってもらえよう、アレンジ料理を120種類以上考案しました



しもつかれの「もったいない」の精神を体感してもらうため、「しもつかれ祭り」を開催した際には、ごみの持ち帰りや容器の持ち込みを義務付けました




特別賞 『ミニソーラーカーやミニ新幹線の開発・運用』

栃木県立宇都宮工業高等学校科学技術研究部

環境にやさしい太陽光で走るミニソーラーカーやミニ新幹線を開発、運用しています



イベント等で子どもたちを乗せることで、子どもたちに喜びを与えとともに、環境学習の推進に大きく貢献しています



車両のベースは廃棄されたシニアカーをリサイクルして使用しています

